

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	鳥取県立中部療育園		
○保護者評価実施期間	令和8年1月7日		～ 令和8年2月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	令和8年1月7日		～ 令和8年2月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 14
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月18日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・多職種連携で利用者ニーズに沿った活動内容を提供している。	・子どもの個々の発達課題や年齢に応じたアプローチを行っている。 ・医師、保育士、作業療法士、理学療法士、言語聴覚士、児童指導員、看護師、心理療法士が連携することで専門性を活かした支援を行っている。	・子どもたちの発達状態をアセスメントし、ミーティング等で各職種で気づきを話し合いながら、さらに個々にあった活動内容を検討していく。
2	・利用者ニーズに沿った研修会を開催することや、多職種による専門的評価や支援ポイント等を、活動を通して利用保護者に様々な視点の情報提供ができています。	・保護者の相談に応じて、多職種の対応やニーズに応じた関係機関への情報提供も行ってきた。 ・研修会をとおして療育理解の向上と保護者同士の情報交換を実施してきた。	・現在の情報共有方法を継続しながら、関係機関のニーズ把握も綿密に行い、利用者ニーズに適時対応できるように関係機関とも連携していく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流の機会提供の活動が行えていない。	・全児童が、地域の支援学校等に在籍し、利用されている放課後等デイサービス事業所での行事等もあり、地域の交流が随時行われているため、当園へのニーズは少ない。	・利用者のニーズに沿った活動内容を考えていくことは継続しながら、関係機関と情報共有して当園での提供できる地域交流について検討していく。
2			
3			